10月号
No.617
ラポール［raport仏］
相互の信頼関係、つながり、関係の意。

ラポール
大阪労働者福祉協議会
http://www.osakarofukukyo.or.jp/

発行所
一般社団法人・大阪労働者福祉協議会
〒540-0031
中央区北浜東3番14号
電話06（6943）6025
毎月1日発行 1部20円
発行人 廣石健次
編集協力・機関紙広報研究センター

大阪労働者福祉協議会が総会準備／10月31日

大阪のまちを大きなセーフティネットに

2015年度の事業を総括し、16年度の運動の具体化に向けた方向を確認する大阪労働者福祉協議会（大阪労福協）の第54回定期総会が10月31日に、大阪市中央区のエル・おおさか南館南ホールで開かれる。15年度事業の運動のキーワードは「た・す・け・あ・い」で、労働者福祉事業の発展と拡大に向けて、従来から取り組んできた運動・活動の進化（深化）をはかり、新たな運動として社会問題化している「奨学金問題」を取り上げ、制度改善に向けた社会運動を繰り広げることに主眼が置かれてきた。また、地域における目に見える活動としてライフサポート事業、工夫を凝らして「なにわ美術展」の継続開催、関係団体との連携強化などが課題として提起されていたが、奨学金問題などでは全国的な運動の広がりを見せた。今年は中間年でもあり、これらの取り組みを分析し新年度の運動に活かすことになる。

「働く人々とその家族の生活向上をはかり、平和で豊かな暮らしを保障する社会の実現をめざす」という大阪労福協の基本理念に立ち戻り運動を進めること、「ライフサポートセンター（LSC）相談事業」を関係団体などと進めることを確認する。

第14回 なにわ美術展

●日本画●洋画（油彩・水彩）●版画

▲第13回美術展の優秀賞（大阪府知事賞）の馬場幸邦さんの作品

あなたの絵を美術展に出品してみませんか？

大阪を代表する美術展の一つで、今回で14回目となる「なにわ美術展」の準備が始まった。

今回は2017年3月3～8日に、エル・おおさか本館9・10階で公開展示される予定。これに先立ち、大阪府域に居住または勤務先のあるアマチュアの人の未発表作品を募集する。

展示種目は日本画、洋画（油彩、水彩）、版画。優秀賞6点、奨励賞・佳作で20点以内の賞が設けられる。出品作品は原則、全作品が展示される予定。

この美術展を主催するのは、一般社団法人・大阪労働者福祉協議会（大阪労福協）と一般財団法人・大阪労働協会。出品作品の申し込み締め切りや応募方法、作品の搬入など、詳細を書いた「出展案内」が希望者に送られる。問い合わせは大阪労福協へ。

退職準備セミナー

退職準備セミナーの開催予定について

毎月1回、大阪府域の5地域を輪番で開催している「退職準備セミナー」は、10月が定員に達したため、案内広告を省略しました。

11月19日(土)・北河内
●青年の家204号室（午後1時半～午後4時）

12月3日(土)・河内
●八尾市文化会館プリズムホール会議室2（午後1時半～午後4時）

1月14日(土)・大阪市
●エル・おおさか本館10階松の間（午前10時～12時半）

1月14日(土)・大阪市
●エル・おおさか本館10階松の間（午後1時半～午後4時）

お申し込みは大阪労福協（06・6943・6025）へ

セミナーは年金、雇用保険、健康保険、税金に関する講座で、定年を迎えるときに必要な基本的知識を習得できる内容。講師はいずれも保理江正剛氏。先着順に受け付け。定員20人。

えーる大阪

秋が深まり、日が傾いてきたかと思うと、あっという間に空が茜（あかね）に染まり、日が沈んでいく。すでに近くの小学校からは家路を誘うアナウンスが聞こえてくる◆釣瓶（つるべ）落としとは、そんな秋の夕暮れをいう言葉。釣瓶は、井戸から水をくみ上げる滑車を使った桶（おけ）のことで、日が沈む早さを、井戸の底へ釣瓶がサーッと落ちていく様子にたとえている◆新暦の10月中旬前は七十二候で「鴻雁（がん来る）」の候で、この年初めて訪れる雁を「初雁（はつかり）」といい、雁が海を渡ってくるころに吹く北風を「雁渡し」ともいう。また青北風とも呼ばれる。灰がかった曇り空と、冷たい北の海の間を群れをなして飛んでくる姿には、何かしらの感動を覚える◆「香り松茸、味しめじ」の言葉どおり、野趣あふれる秋の味覚も多い。秋を存分に楽しみたいものだ。

■大阪労福協メール：osakarofukukyo@yahoo.co.jp　電話＝06-6943-6025　FAX06-6943-5347。

人と家の高齢化

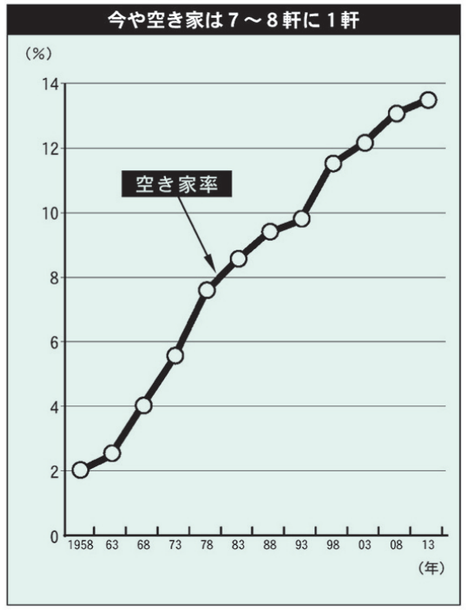
要注意の放置空き家318万戸

過疎化地域より都市部が深刻

日本中に空き家が広がっている。2013年に総務省が実施した「住宅・土地統計調査」によると、空き家の数は全国で約820万戸。この20年間でほぼ2倍に増え、空き家率（総住宅数に占める空き家数の率）も13・5％と過去最高を記録した。総務省が5年ごとに発表するこの統計では、「空き家」を「賃貸用」「売却用」「二次的住宅（別荘）」「その他」に分類している。そのうち、とくに問題視されるのは、「その他」の空き家だ。長期間放置され、倒壊などが懸念される危険な状態の空き家も含まれており、その数は約318万戸に達している。

各自治体では、空き家に立ち入り調査し、強制撤去できる独自の管理条例の制定を進めている。15年4月時点で、条例を施行済みの自治体は431を数える。国も、自治体の取り組みを支援する「空家等対策の推進に関する特別措置法」を制定、15年5月から全面施行に踏み切った。過疎化地域より都市部が深刻との声もあり、日本の社会背景から探る必要がある。

いま日本は人口減少のフェーズに入っているのに、住宅数は増え続けている。住む人が減ってそれだけ家が増えれば、不便で条件の悪い住宅に人が住まなくなり、空き家が増える。国土交通省の「空き家実態調査」（14年）によると、空き家が発生するのは、家主（居住者）が亡くなった後の相続のタイミングだ。相続人が遠方にいて居住できないといった理由に加え、家は売るにも壊すにもお金がかかる。それが嫌われ、結果的に「放置」される。戸建てと違って簡単には壊せない老朽マンションの増加は、都市が直面する大きな課題だ。



6人に1人の子どもが貧困

子ども・若者白書

相対的貧困への理解不足

日本の子ども貧困率は、想像以上に深刻だ。所得の中央値の半分（貧困ライン）を下回っている「相対的貧困」の家庭にいる子どもは6人に1人で、約325万人いる。内閣府の子ども・若者白書（2015年版）によると、子どもの「相対的貧困率」は、1990年代半ばごろから上昇傾向で、2012年は16・3％と過去最悪を更新。一人親世帯に限ってみれば、54・6％と先進国でも最悪水準にあるとしている。

経済的理由により学校に通えないため、「就学援助」を受ける小・中学生は約155万人（12年度）。率でみれば、過去最高の15・64％となっている。それらの家庭の所得は、子ども一人の一人親家庭で月に14万円台。夫婦と子ども2人だと20万円台。そんな人たちが6人に1人いるというのが現実だ。

このような家庭の子どもたちは、病院に行く、塾に通う、修学旅行を楽しむなどの「当たり前」な暮らしができないのが現実だ。

ライフサポートセンター おおさか★★★

ひとりで悩んでいませんか？

電話 0800-200-0154（フリーアクセス）
URL http://www.osaka-lsc.jp/
相談日 月～金曜日の平日　時間 午前10時～12時 午後1時～4時
相談は無料です　ただし、裁判や実務依頼されるケースの場合は、それぞれの取り決め額の支払いといたします。
※ライフサポートセンター大阪中央には、毎週木曜日、社会保険労務士が常駐しています。

相談内容

相談項目	主な相談内容	相談窓口
労働相談	雇用・賃金・労働時間	連合大阪など
暮らし・生活	生活資金・ローン・多重債務	近畿労働金庫など
福祉・保障	災害保険・介護サービス・子育て	全労済・NPOなど
生きがい趣味	ボランティア・サークル	NPOなど
社会保障	社会保険・年金・雇用	社会保険労務士
税務・法律	税金・相続・確定申告	弁護士・税理士など
冠婚葬祭	式場など	大阪各地域労福協

ライフサポートセンター　地域センター 大阪中央・北大阪・北河内・河内・大阪南
構成団体 （一社）大阪労働者福祉協議会／連合大阪／近畿労働金庫大阪地区統括本部／全労済大阪府本部／大阪府社会保険労務士会

「出張！なんでも相談」

イオンモール鶴見緑地で初開催

大阪市労福協

大阪市労福協が初めての試みとして、大型商業施設での「出張！なんでも相談会」を開催した。今回は、イオングループ労働組合連合会と連携を図り、大阪市内では最大級のイオンモール鶴見緑地店で8月20日、21日の2日間、いずれも午前11時から午後5時までスタッフは延べ21人での対応となった。

連合大阪、近畿労働金庫、全労済大阪府本部からアドバイザーの派遣を受け、万全の態勢を整えた。

初日は、夏休みの後半を迎え、イオンのお客様感謝デーと重なったことから、小さな子どもを連れた家族などの来店者が多く、来店の人や帰りがけの人に「なんでも相談会」へのキャンペーンを実施した。イオンモール鶴見緑地店のグリーンコートにブースを整え、連合キャラクター「ユニオニオン」もキャンペーンに参加。また、事務局の中村さんもバルンアートで奮闘（特訓の成果を発揮）、一時は溢れんばかりの賑わいで盛り上がった。

オープンスペースのため着席をしてじっくり相談という人はいなかったが、「なんでも相談チラシ」入りのティシュを配布していたら、立ち話で家族の雇用相談をされる人が多く、成果をもあった。

今後も検討を重ね「顔の見える地域活動」に繋げていく。

▲キャラクター「ユニオニオン」も相談会をアピール

▲買い物に来た人たちに「なんでも相談」を告知

地域 労福協

▲写真は大阪南労福協のボウリング大会の地区予選大会での優勝チーム。上は泉州地区、下は堺地区

地域で自主福祉講座を予定

「運動の歴史」と「伝わる力」

河内労福協

河内労福協が参加する河内地域労使会議主催の「2016年労働者自主福祉講座」が10月25日に大阪上本町のホテルアウィーナ大阪で開かれる。

講師には、「労働者自主福祉運動～運動の歴史を振り返る～」をテーマに、大阪労福協の三田真也事務局長が講演の予定。また第2部の基調セミナーとして、仕事効率改善コンサルタントの今蔵ゆかり氏が、今すぐできる 仕事がはかどる「ひと工夫」～「伝わる力」と「整理力」を磨くコツ～をテーマに講演の予定。

▶子どもと一緒に楽しむ家族

夏休みファミリーイベントでにぎわう

河内労福協が主催する「夏休みファミリーイベント」が8月21日に河内長野市の関西サイクルスポーツセンターに26家族105人が参加し開かれた。気温36度の猛暑となったが、フリーパスにプールの入場も付いており、子ども連れの家族に限らず、おじいちゃん、おばあちゃんの参加もあった。

キャンプ場エリアのBBQスペースは屋根があり、周りは木々に囲まれ、意外と快適にバーベキューを楽しんだ。今回初めて参加した人の中には、「子どもが自転車の乗り方のレッスンを受けられると聞いたのでイベントに参加した」という声も。夏休み期間中のイベントとあって、子どもたちは元気いっぱいで、閉園時間まで楽しんだ。

河内労福協は他にもファミリー向けのイベントを企画しており、恒例の「みかん狩り&BBQ」は11月26日の土曜日で準備を進めている。問い合わせは河内労福協（☎072・987・8787）へ。

地区選抜のボウリング大会17日に

大阪南労福協

大阪南労福協は、「第7回地区協選抜対抗ボウリング大会」を10月17日に、貝塚市のコスモレーン（南海貝塚駅より徒歩2分）で午後6時30分から開く。

このボウリング大会は、各地区予選大会での代表4チーム、役員1チームの計5チーム（20人）による3地区（堺・泉州・泉南）対抗戦だが、ルールがとてもユニーク。予選チーム平均点＋本選トータルスコア＋始球式での各地区議長の成績が加味される。ストライクなら200点、それ以外は1ピンが10点、議長代理の場合は欠席による減点100があるなどなど、なかなかこったルール。

大会を盛り上げるために参加チームはユニークなチーム名にすることも要請されており、スコアを競うと同時に交流にも力が入っていることが分かる。地区代表は10月7日までに選ばれるが、写真（上段）はすでに決定している地区の優勝チーム。

天満橋

季節はやっと秋に入った。「○○の秋」と言うが、自分にとって秋と言えば「収穫の秋」である。山深い山間地にある私の故郷でも米の収穫期を迎え、今年も稲刈りに帰省した▼機械化が進んだ近代の農業とはいえ米作りは人力での作業が多く、体力の衰えた高齢の両親にとって気力だけでは年々厳しくなってきた。息子としての少しばかりの責任感で春の田植え、秋の稲刈りに汗を流している▼米と言う字は八十八と書き、多くの手間がかかる意味とも言われているが、収穫までにはいろいろな戦いがある。日々の水管理、病害虫対策、台風被害の心配などなど。しかし何と言っても一番の強敵は山の動物たちだ。稲穂が実りだすころ、イノシシ、シカ、サルの群れ…田んぼの中で暴れまわる彼らも生きるためには必死で、人間との知恵比べの戦いでもある▼さて、あと何年収穫の手伝いが出来るだろうか。今年も故郷の両親と山の動物たちの顔を思い浮かべながら新米をいただきたい。（KN）

エル・おおさか10F
音の風景～秋の風にのせて～
10/17(月) 午後0時10分
出演・曲目
藤澤 久美子（ピアノ）
予定曲 ①小さい秋見つけた ②紅葉 ③赤とんぼ ④水の戯れ ⑤花は咲く、ほか
入場無料
ランチたいむコンサート

10月 きょうは何の日？

◆1日(土)衣替え
◆4日(火)大阪府への要請、新顕彰碑建立第2回実行委員会、都市景観の日
◆5日(水)顕彰・追悼式第3回事務局会議
◆6日(木)中部労福協2016年度研究集会（～7日、岐阜）、国際協力の日
◆8日(土)退職準備セミナー（大阪市）、寒露
◆10日(月)体育の日、目の愛護デー、世界メンタルヘルス・デー、缶詰の日
◆12日(水)大阪市地域労福協ボウリング大会（心斎橋サンボウル）、松尾芭蕉忌
◆13日(木)十三夜
◆15日(土)大阪社会運動協会物故者顕彰・追悼式（大阪城ホール）、きのこの日
◆16日(日)世界食糧デー
◆17日(月)貧困撲滅のための国際デー、貯蓄の日
◆18日(火)大阪労福協・5地域労福協合同研修会、第69回新聞大会（山形市）、統計の日
◆20日(木)土用、リサイクルの日、新聞広告の日
◆21日(金)志賀直哉忌
◆22日(土)時代祭（京都市）、プロ野球日本シリーズ第1戦、平安遷都の日
◆23日(日)霜降
◆24日(月)国連デー
◆25日(火)河内地域労福協労働者自主福祉講座（ホテルアウィーナ大阪）、西成労働福祉センター臨時評議員会
◆27日(木)文字・活字文化の日、読書週間（～11月9日）
◆31日(月)大阪労福協第54回定期総会（午前10時、エル・おおさか南館5階南ホール）、ガス記念日、ハロウィーン

ZENROSAI NEWS 2816Z011

全労済の「生活保障設計運動」を、あなたとご家族の最適な保障づくりにお役立てください。
保障のことなら 全労済
全労済大阪府本部（全大阪労働者共済生活協同組合）
全労済 大阪府本部 検索

@ アルファからオメガまで
UNION SERVICE
人と人をつなぎ、時代のいろんなモノ、結びます／愛称：連合ユニオンサービス
●機関紙や定期刊行物、パンフレット、チラシ、ポスターなどの発送代行
●機関誌（紙）やパンフレットなど印刷全般
●各種集会・会議・研修会の会場予約・講師派遣、看板・ディスプレイ作成
アルファ・オメガは、設立以来、連合大阪をはじめ各事業団体、構成組織、単位組合や各級議員の皆様に支えられて事業展開を行ってきました。引き続き、皆様のニーズにお応えできるよう努力を積み重ねてまいります。一層のご愛顧を頂きますようお願い申しあげます。
㈱アルファ・オメガ
TEL 06-6305-1653
FAX 06-6305-5316
E-mail:a-omega@feel.ocn.ne.jp

大阪府事業所福祉共済事業
大阪府内の中小企業で働く勤労者が豊かで充実した生活を送るため、府内市町村で勤労者互助会事業が実施されています。(一財)大阪労働協会が窓口となり、府内市町村で実施している勤労者互助会事業を、再共済事業方式によるスケールメリットを活かして、ホテルなどの施設の割引サービス・宿泊施設などの利用補助等の事業を実施しています。
おおさかNet
「おおさかにNet」は、勤労者互助会事業の更なる拡充・広域化を推進するために作られた統一ロゴマークです。
お問い合わせ
一般財団法人大阪労働協会 共済事業担当 TEL:06-6942-0787
ホームページ
大阪府事業所福祉共済事業 http://www.l-osaka.or.jp/fukushi-kyousai

銀行・ゆうちょ銀行・セブン銀行・コンビニのATM・CD機でのお引出し手数料は全額還元!実質無料に!
近畿ろうきんのキャッシュカードやローンカードで都市銀行をはじめとするMICS加盟の提携金融機関・ゆうちょ銀行・セブン銀行、コンビニのATM・CD機を利用してお引出しされた場合の手数料を即時にご利用いただいた普通・貯蓄預金、カードローン口座へ入金します。
*お振込手数料については還元対象になりません。
回数・金額の制限は一切なし!
対象となる口座
●個人の保有するすべての普通預金（無利息型含む）・貯蓄預金
●カードローン口座
*延滞口座や口座解約をされている場合は還元対象外となります。
ご利用可能なATM・CD機
●全国のろうきん・MICS加盟の提携金融機関（都銀・信託銀行・地銀・第2地銀・信金・信組・JA等）
●ゆうちょ銀行 ●イオン銀行
●セブン銀行（セブン-イレブン・イトーヨーカドー）
●コンビニ（ローソン・ファミリーマート等）
*全国のろうきん・イオン銀行は手数料がかかりません。
キャッシュカード・ローンカードで入金もでき、しかも無料
入金ネット
入金は全国のろうきんはもちろん、イオン銀行、セブン銀行、ゆうちょ銀行、第2地銀・信金・信組のATM機でも可能。しかも手数料は実質無料。
*第2地銀・信金・信組では、一部ご利用いただけない金融機関・店舗がございます。ご利用いただけるATM機には「入金ネット」のマークが表示されています。
毎月第1・3月曜2:00～6:00とハッピーマンデー前日の21:00～翌朝6:00は、定期メンテナンスのためろうきんカード>はご利用いただけません。
お問合せは 近畿ろうきん 0120-191-968（フリーダイヤル）
月曜～金曜 9:00～18:00（土曜・日曜・祝日 12/31～1/3は除く）
近畿ろうきんのホームページ（www.rokin.or.jp）をご覧ください。

＊コラム「天満橋」は大阪労福協理事が輪番で担当しています。